

地区別市政懇談会 当日質疑応答用紙一覧 鶴巻地区

平成28年11月10日(木) 鶴巻公民館

第1部:地域のまちづくりについて

	質問事項	当日の回答	回答者	補足、現在の状況・今後の対応等	担当課
1	<p>鶴巻温泉街の活性化について 鶴巻温泉街の活性化を図るため、公営源泉の活用や手湯・足湯等の利用状況及び駅北口と併せた温泉街の整備の進捗状況はどのようになっているか。</p>	<p>鶴巻温泉駅北口周辺において、魅力あるまちづくりを目指す指針として、平成22年2月に策定した「鶴巻温泉街再活性化構想」では、その将来像を「誰もが住みたくなる温かみのある街」としています。この将来像の実現を図るため、まずは、平成23年1月、鶴巻温泉駅北口に新源泉「つるまき千の湯」を掘削しました。</p> <p>これにより、温泉地としての魅力向上を図るため、弘法の里湯や希望する旅館に新源泉を配湯するとともに、温泉街のシンボルとなる「手湯」を鶴巻温泉駅北口に整備し、27年度は、弘法の里湯敷地内に温泉持ち帰り用水栓を併設した「足湯」を整備いたしました。</p> <p>手湯、足湯の正確な利用者累計はとっていませんが、足湯の開設直後の調査では、平日60人から70人、土日は、100人から120人、休日の利用者が多い日は、140人位の利用者の方がいらっしゃいます。足湯が無料施設であることによる弘法の里湯入場者が減少したということもなく、影響はないものと考えています。「足湯」につきましては、無料で鶴巻温泉の泉質を体感できることもあり、鶴巻のPR効果を発揮していると考えております。</p> <p>「弘法の里湯」につきましては、引き続き新源泉を生かした誘客策を図りながら、持続可能となるよう、リニューアルしてまいりたいと考えています。</p> <p>平成26年度には観光資源活用部会において、散策マップを策定した経過もございますので、さらに鶴巻の観光資源のPRを図れるよう、案内看板の設置など有効な方策を検討してまいりたいと考えます。</p> <p>今後は、構想の目標である温泉地としての魅力向上や、地域ブランドの確立を図る施策と、満足度の高い住環境づくりの施策とのバランスを図りながら、着実に「あったかタウンつるまき」の実現に取り組んでまいります。</p>	観光課長	当日の回答に同じ	観光課

<p>2</p>	<p>鶴巻温泉駅南口広場周辺の整備について 鶴巻温泉駅南口広場周辺整備の進捗状況は、どのようになっているか。また、駅舎と南北連絡路、その周辺地域の整備状況はどのようになっているか。</p>	<p>鶴巻温泉駅南口周辺整備については、駅前広場整備と併せて、土地区画整理事業による「広場周辺整備」と「県道立体横断施設及び南口橋上改札口」の整備を一体的に実施する計画とし、平成29年度完成を目指して、事業を進めているところです。</p> <p>今年度は、2カ年継続事業となる県道立体横断施設整備工事の請負契約を締結し、請負業者の工場で施設本体の製作を進めております。</p> <p>また、現場では小田急による新設跨線橋の整備工事が実施されており、この新設跨線橋を供用し、既存の跨線橋を撤去した後に、本市で県道立体横断施設の現地への架設工事や駅前広場の整備工事を実施していくこととしております。</p> <p>土地区画整理事業による「広場周辺整備」では、7月に鶴巻郵便局の駅前広場周辺への移転が完了したことにより、現在は最終的な造成工事を実施しており、本年度中には概ねの事業が完了する見込みとなっております。</p> <p>本事業では、本市が施工する県道立体横断施設と小田急が施工する鶴巻温泉駅の跨線橋を、南口橋上改札により接続する整備を行っておりますが、この跨線橋は駅施設となることから、南北の駅前広場間を自由に連絡する通路とはなりません。したがって、南北の駅前広場間の移動については、今までどおり、駅東側の踏切(伊勢原15号)を利用させていただくこととなります。</p> <p>また、駅前連絡所や南口公衆トイレについても、駅前広場の供用開始に合わせて開設できるよう関係部局や関係権利者などと調整を進めているところです。</p>	<p>都市整備課長</p>	<p>平成29年3月4日新設跨線橋の供用開始。 広場周辺整備は、造成工事が完了し、平成29年3月に換地処分を行った。</p>	<p>都市整備課</p>
----------	--	---	---------------	--	--------------

<p>3</p>	<p>県道の歩道整備について 県道612号(延命地藏尊交差点からおおね公園まで)、県道613号(延命地藏尊からサンライフ入口まで、近々整備されると聞いているが、歩道整備はどのようになっているか。</p>	<p>2つの質問の趣旨で「近々整備されると聞いておられるようです」が申し訳ございませんがまだこの路線についてはどちらも具体的な整備事業化には至っておりません。現在、県に要望している最中です。詳しく説明しますと、1つ目の県道612号の延命地藏尊交差点からおおね公園までの延長約650mの区間については、県全体から見た事業の優先度や他の事業箇所の進捗状況を考慮しながら、検討していくと聞いております。なお、現道内で可能な歩行者等の安全対策については、開口部の大きい側溝の蓋かけや法面の安全整備を引き続き対応していきますが、一部、蓋かけに反対の地権者もいると聞いておりますので、ぜひ、地元の自治会で一度意見をとりまとめた上で県に整備を再度、要望していきたいと思っております。地元自治会の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>また、2つ目の県道613号の延命地藏尊からサンライフ入口まで区間については、一部、交差点から落幡バス停付近までは、歩道が両側に整備されておりますが、バス停から先のサンライフ入口信号までが未整備状態になっています。地元の皆様からは、ミアクチーナがある片側だけでもなんとか歩道が整備できないのか？との多数の意見も市と県には十分届いております。事業の優先度から考慮しますと、現在、県では鶴巻温泉南口駅前の道路整備として延命地藏尊先から伊勢原15踏切までの整備に全力を挙げて事業を進めております。県はこの路線が完成したら次のネットワークとして613号の歩道設置に向けて対応を将来的な課題と考えていると聞いております。よって、今後とも引き続き地元の声を粘り強く県に伝え要望してまいります。</p>	<p>国県事業推進課長</p>	<p>県道612号の蓋かけに反対している地権者に対して、自治会より協力依頼の働きかけを実施し、蓋かけについて理解を頂いた旨、平塚土木事務所へ連絡。</p> <p>県道613号については、当日回答のとおり。</p>	<p>国県事業推進課</p>
----------	--	---	-----------------	--	----------------

① 工事の進捗状況はどのようになっていますか
鶴巻温泉駅南側、新川橋付近の全面通行止めにて行っていた工事につきましては、10月末に無事に完成し交通開放することが出来ました。住民の皆様には、約2年(21ヶ月)と長期にわたり迂回のご協力をしていただき大変ありがとうございました。
現在の現場状況は、仮舗装であり、今後、開水路を暗渠化しましたので、その上部を歩道にする工事と車道の舗装工事を行います。工事中の交通規制ですが、歩行者通路を確保しながら、基本的には、車両片側交互通行にて工事を行い、平成29年3月の完成を予定しています。
今後も住民の皆様には、ご迷惑をお掛け致しますがご協力をお願いします。

① 鶴巻温泉駅南側、新川橋付近につきましては、現在開水路を暗渠化したことに伴い、水路上部を歩道にする工事と車道の舗装工事を行っています。工事中の交通規制は、歩行者通路を確保しながら、基本的には、車両片側交互通行にて工事を行い、平成29年5月末の完成を予定しています。
今後も住民の皆様には、ご迷惑をお掛け致しますがご協力をお願いします。
②その下流、塩貝橋周辺までの

鶴巻の浸水対策について

① 工事の進捗状況はどのようになっているか。

② その下流の塩貝橋周辺までの工事はどのようになっているか。

③ 杉の木周辺では、東日本大震災でコンクリートにひび割れし、浸水したが、補修はされたものの、抜本的な工事をされるのか。

④ 大根10雨水幹線(代々木)の工事はどのようになっているか。

②その下流、塩貝橋周辺までの工事について

塩貝橋～ひかり橋区間の工事は、幅4.0m高さ1.5mのボックスカルバートを86m、基礎構造は杭基礎で、1本当たり30mの長さの杭を121本打設する計画です。現在の状況は、入札中であり、業者の決定は、12月初旬の予定です。

現場着手時期は、平成29年2月頃と考えています。今回の工事も、新川橋付近の工事と同様な工事となり、こちらも大変、大がかりな工事となります。

工事方法は、工事区間を上流部、中間部、下流部の3ブロックに分けて順番に施工する計画です。作業時間は、昼間施工です。

交通規制につきましては、施工時、車両通行止め、歩行者は、施工時も通行できるよう歩行者通路を確保したいと考えています。

夜間につきましては、車両、歩行者ともに、通行できるように考えておりますが、塩貝橋付近は、水路の機能を生かしながら、施工する必要があり、既設水路の取り壊しから仮設通路築造までの期間、昼夜車両通行止めと考えています。

今回の工事も、住民の皆様のご理解とご協力なくして進めることが出来ない工事であります。今後、新川橋付近の工事と同様に、工事説明会や自治会を通した組回覧等による周知活動、また、「広報はだの」やインターネットを利用したホームページ、工事予告看板の設置など行って行きたいと考えていますのでよろしくお願ひします。

工事について

塩貝橋～ひかり橋区間の工事は、幅4.0m高さ1.5mのボックスカルバートを86m、基礎構造は杭基礎で、1本当たり30mの長さの杭を121本打設する計画です。工事に着手すべく、平成28年11月から入札を行いました。入札参加者が現れず現在業者が決定していない状況です。今後、入札条件や設計内容の見直しを行い、6月初旬に業者を決定したいと考えています。

現場着手時期は、平成29年8月頃と考えています。今回の工事も、新川橋付近の工事と同様な工事となり、こちらも大変、大がかりな工事となるため、住民の皆様のご理解とご協力なくして進めることが出来ない工事であります。今後、新川橋付近の工事と同様に、工事説明会や自治会を通した組回覧等による周知活動、また、「広報はだの」やインターネットを利用したホームページ、工事予告看板の設置など行って行きたいと考えていますのでよろしくお願ひしま

下水道施設課長

下水道施設課

③杉の木周辺では、東日本大震災でコンクリートがひび割れし、浸水したが、補修はされたものの、抜本的な工事はしないのか。

杉の木周辺につきましては、東日本大震災の際に被災したため、補修工事を行いました。現時点において、当該箇所は整備計画に組み込まれておりませんが、上流側の暗渠部の完成により状況を見たいと考えております。

また、傷んでいる箇所の補修などについては、継続的に現地を確認し水路の機能を維持していきたいと考えています。

④大根第10雨水幹線(代々木)の工事の見通しについて。

代々木地区を流れる、通称「代々木水路」は、設置から40年以上が経過し、老朽化が進んでいることから、改修を行なっていく路線として位置付けております。

工事の施工時期は、塩貝橋の工事完了後の平成31年度からの工事になると考えております。

しかし、この水路の整備までには、まだしばらく期間がありますので、傷んでいる箇所の補修など、継続的な現地確認と補修作業をしていきたいと考えています。

す。

③ 当日の回答と同じ

④大根第10雨水幹線(代々木)の工事の見通しについて。

代々木地区を流れる、通称「代々木水路」は、設置から40年以上が経過し、老朽化が進んでいることから、改修を行なっていく路線として位置付けております。

工事の施工時期は、塩貝橋の工事完了が平成31年度を予定しており、引き続き早い時期に工事着手したいと考えております。

しかし、この水路の整備までには、まだしばらく期間がありますので、傷んでいる箇所の補修など、継続的な現地確認と補修作業をしていきたいと考えています。

5	<p>旧ポンプ場(排水機場)について 環境美化と観光資源として、地域住民の力で進めている大根川と善波川の遊歩道の観光拠点として利用できないか。観光開発の有効な活用として要望します。大山や富士山の眺望は素晴らしい。</p>	<p>平成22年2月に策定した「鶴巻温泉街再活性化構想」では、ハードとソフトの両面から、活性化に資する施策を進めることとしています。</p> <p>ハード面では、新源泉を鶴巻温泉弘法の里湯、及び希望する旅館に配湯したほか、温泉街のシンボリック施設として、手湯、足湯さらには足湯に付帯する設備として源泉持ち帰り用栓を整備いたしました。しかし、ハードの整備だけで誘客や賑わいが図れるものではないと考えており、鶴巻地区が持っている地域資源や特性を生かしたソフト施策の充実が重要であると認識しています。</p> <p>これまで、大根川沿いに桜の植樹を進めてきたほか、平成26年度には、鶴巻温泉源泉活用検討会の部会の一つである観光資源活用部会において、鶴巻地区の地域資源、観光資源である延命地藏、吾妻山、おおね公園、大ケヤキやあじさい散歩道をポイントとするまち歩きコースの策定を行っており、地域の事業者の協力を得て、店舗等で特典が受けられる散策マップを作成いたしました。このマップにつきましては、気軽に回れる「ミニ散歩コース」のほか、より健脚者向けのコースも記載しておりますが、今年度改定を行う予定としておりますので、お話しにありました鶴巻排水機場の富士見についても写真を掲載するなど、ビュースポットとしてのPRを図っていきたいと考えております。</p> <p>さらには、本市観光振興のソフト面の担い手である観光協会と連携し、鶴巻排水機場付近のあじさい散歩道の景観や、大山、富士山の眺望をPRしていきたいと考えています。</p>	観光課長	当日の回答と同じ	観光課 森林づくり課
		<p>施設については、大根川の放流施設の撤去工事の完了後でなければ安全な土地利用をすることができません。地元の要望については承知しています。周辺にあじさい遊歩道や地域住民が親しみを持てる空間として利用できるよう、地元と検討していきたいと考えています。</p>	森林づくり課 課長代理		

	<p>6 鶴巻公民館について 鶴巻公民館は老朽化や雨漏りがあるが、水害時での避難場所に指定されている。生涯学習や文化の発信拠点として新築をお願いしたい。</p>	<p>施設の改修は、耐用年数や劣化状況を踏まえ、11館全体のバランスを考慮し計画的な整備に努めています。 こうした中、平成3年に開館した鶴巻公民館の最近の改修状況は、24・25年度に空調設備の更新、25年度に外壁の改修と屋根の防水、26年度に天井の改修と受変電設備の更新を実施しました。また、雨漏りについては、25年度の防水工事である程度改善し、3つの台風が接近した26年度には、22人の避難者を受け入れるなど、風水害の第一次避難所としての機能、また、身近な生涯学習、地域コミュニティの拠点としての機能には問題ないと考えます。 次に、ご要望の新築についてですが、本市が進める「公共施設再配置計画」の中では、公民館の建替えは、近隣の学校施設の更新と合わせて複合化して整備に取り組んでいくことになっています。 鶴巻公民館は、鶴巻中学校と鶴巻小学校に近接しており、建替えに当たってはこれらとの複合化を視野に入れた検討が必要となりますが、それまでの間は、引き続き、利用環境の向上に努めていきたいと思ひます。</p>	生涯学習課長	当日の回答に同じ	生涯学習文化振興課
--	---	--	--------	----------	-----------

7	サンライフ鶴巻が将来的には民間に移行するという話を聞いている。鶴巻地区の中心部にコミュニティセンターのような施設をお願いしたい。	<p>公共施設再配置計画では、最優先で機能を維持する小・中学校に、公共施設が持つ様々な機能を集約し、乳幼児から高齢者まで、地域の誰もが集まることのできる「地域のコミュニティの拠点」を作り上げていきます。これは、人口減少と高齢化が進む中では、将来にわたり残すことができる公共施設の量には限りがあるためであり、将来の市民に大きな負担を残さないようにしながら、重要な既存施設を最大限に有効活用して、公共施設が持つ大切な役割を維持していくための方法です。</p> <p>サンライフ鶴巻につきましては、過年度の市政懇談会でもご質問をいただいておりますが、鶴巻公民館や大根公民館など、近い場所に同様の機能を持つ施設がありますので、計画の中では、廃止する予定です。</p> <p>しかし、建物自体は、まだ十分に使用できますので、建物の有効活用策として、公益性のある団体に譲渡する計画です。譲渡先や時期については、現在のところ未定ですが、サンライフ鶴巻が持つ役割の一部を維持して行く方法を考えながら計画を進めていきたいと思っております。</p>	公共施設マネジメント課長	当日の回答と同じ	公共施設マネジメント課
8	廃止となった保育園の跡地について、地元自治会等がイベント等で、借用することができるよう、県に働きかけていただきたい。	<p>保育園跡地は、現在も県が所有しています。県では、今のところ、具体的な土地の処分や活用策はないとのことです。</p> <p>ご提案について県に確認したところ、イベント等で貸すことは可能ですが、具体的な相談ごとに判断したいとのことです。また、内容によっては、有償になることもあるとのことです。</p> <p>なお、定期的に土地の維持管理をしていますが、地域の皆さまに貸す場合には、イベントにあわせて、草刈等対応することはできないので、協力していただきたいとのことです。</p>	企画課長	当日の回答と同じ	企画課

9	<p>通学の歩道設置について 極楽寺前の通学路は歩道がなく大変危険である。事故があつてからでは遅いので、是非、前向きな回答をお願いしたい。また、並行して東海大学前駅に通ずる都市計画道路について促進していただきたい。鶴巻中学校西側のクランクの整備計画はどのようになっているのか。</p>	<p>極楽寺前の市道64号線については、通学路の安全点検において、安全確保が必要な対象路線となっております。 実施内容としましては、車道の外側にカラー舗装を行うことにより、イメージ的な歩道整備を行う予定となっております。 工事の予定としましては、来年度、平成29年度から行えるよう国庫補助金要望などの準備を進めております。</p>	建設管理課長	<p>平成29年度国庫補助金の事業となりましたので、平成29年度より順次進めてまいります。 3番目の鶴巻中クランクの歩道整備について、平成29年度に工事を行い、事業の完成を目指します。</p>	<p>建設管理課 道路整備課 学校教育課 都市政策課</p>
		<p>都市計画道路東北久保塩貝線については、現在事業化に至っていません。秦野市都市計画道路見直し計画の中で、保留路線となっておりますので、今後検証を行ってまいります。</p>	都市政策課長		
		<p>鶴巻中学校西側の道路は見通しが悪く、また通学路であることから多くの皆さんから要望が上がっています。現在のクランク形状から緩やかなS字形状へ改良し、見通しを良くします。さらに中学校側に幅員2mの歩道を設置して、全体幅員約6.7mの道路を造る予定です。 昨年度までに測量が完了し、今年度は用地買収を行っています。来年度は国の交付金を活用し、道路工事を予定しています。</p>	建設管理課長		

10	<p>鶴巻地区社協拠点について 社協だけにとどまらず「まちづくり、自治会」を含めた拠点として位置付けてる。3年前の4月から「支えあい、助け合い」を合い言葉に、サロン活動やボランティア活動を進めている。まちづくり委員会や自治連の会合等も積極的に利用し、また、介護保険法の改正で、高齢化に伴う介護や支援活動はますます重要になると思われる。行政と自治連や地区社協、民生委員児童委員協議会と連携を取り合うことが不可欠になっており、このような意味でも、避難行動要支援者への対応はもとより、拠点への全面的な支援を是非、お願いしたい。秦野市社会福祉協議会より家賃の賃貸料を助成していただいておりますが、これだけでは十分とはいえません。近隣の農家より提供された新鮮野菜販売をし、売り上げの一部をいただきやりくりしてる。</p>	<p>地域におけるまちづくり拠点事業への支援としましては、地域の様々な団体が連携して、地域の課題に取り組むための横のつながり、課題の共有化を図る場所が求められていることから、各まちづくり委員会に対し拠点設置に係る支援をすることといたしました。</p> <p>具体的には、本年9月に「秦野市市民によるまちづくり事業交付金交付要綱」を改正し、新たなメニューとして「まちづくり拠点交付金」を設け、来年度から家賃については、その1/2、月額5万円、年間60万円を限度として交付します。更に、拠点において光熱水費等の負担がある場合は、月額1万円、年額12万円を限度として交付します。</p> <p>秦野市社会福祉協議会では、鶴巻地区社協の活動拠点に係る家賃等補助金を現在、年間72万円交付していますが、来年度から、市の「まちづくり拠点交付金」の対象になりますので、この交付金で足りない額を社会福祉協議会では、共同募金配分金を活用し、引き続き、家賃の全額を補助していきたいと考えています。</p> <p>また、市では、体操や歌、趣味活動などにより、地域の支えあいと介護予防を目的に高齢者のサロン活動を実施する団体に「地域介護予防活動支援補助金」を交付しています。鶴巻地区では、鶴巻地区社協の拠点である「ほっとワーク鶴巻」において、サロン活動が盛んに行われています。この中で毎月1回定期的に行われている活動(歌声喫茶、健康体操)が補助金の対象になります。</p> <p>活動の構成メンバーや年間の予定等の申請書類がございますので、代表者に連絡をとり、補助金を交付したいと考えています。さらに、サロン活動が活発になれば、補助金の増額を考えていきたいと思っております。</p>	高齡介護課長	ほっとワーク鶴巻のサロン活動については、平成28年度地域介護予防活動支援補助金を交付し、活動費の一部を助成しています。	市民活動支援課 地域福祉課 高齡介護課
----	---	---	--------	---	---------------------------

<p>11</p>	<p>緊急輸送道路の確保について「県道613号の全区間、及び県道612号の延命地藏交差点から笠窪まで(本来は国道246号交差点まで)を第一次緊急輸送路に指定するよう県に要請を求めている。また、災害時での避難所運営の対応が遅れているのではないだろうか。鶴巻地区は坂が多く、災害時には交通手段がなく、陸の孤島化になる可能性もある。ヘリポート等、緊急時の輸送体制をどのように考えているか。</p>	<p>緊急輸送道路は、県外からの支援のための幹線道路であること、また、県内各自治体の災害対策本部及び物流拠点を結ぶ路線であることが要件となっております。これは、「神奈川県緊急輸送道路ネットワーク計画等策定協議会」が作成する「神奈川県緊急輸送道路ネットワーク計画」に定められ、神奈川県防災会議の承認を経て指定されます。</p> <p>ご指摘の2路線については、県の担当部署によりますと、緊急輸送道路としての要件に該当しないということで、現状では指定は非常に難しいという見解でしたが、緊急輸送道路の拡充について引き続き県と協議を重ねていきたいと考えています。計画を作る中で県との協議では、これら緊急輸送道路以外にも、災害時には、主要な県道を使用することに加え、広域避難場所等を結ぶ市道を市優先確保路線として使用し、市域内の緊急輸送ルートを確認したいと考えています。また、この2路線については、主に鶴巻地区の主要路線であるため、管理者である平塚土木事務所には引き続き適切な道路の維持管理についてお願いしていきたいと思っております。</p> <p>緊急時の輸送体制について、救援物資は総合体育館に集積され、そこから緊急輸送路である国道246号線や、県道612号線、613号線を使って鶴巻地区の避難所に供給されます。また、自衛隊の災害派遣等による空路からの物資受入拠点としては、ヘリコプターの離着陸場に、「コベルコマテリアル銅管秦野工場グラウンド」を指定しており、鶴巻地区では、おおね公園多目的広場を災害時の状況に応じて使用します。さらに、鶴巻中学校の防災備蓄倉庫は他の広域避難場所の倉庫の2倍の大きさを有しており、東部地区の拠点としての役割を考えており、備品の充実に努めたいと思っております。</p>	<p>防災課長</p>	<p>当日の回答に同じ</p>	<p>防災課</p>
-----------	---	--	-------------	-----------------	------------

12	<p>おおね公園の整備について 公園内に体育館兼多目的ホールが開設できないか。 また、来春、スポーツ広場が芝生化にされると聞いていますがどのような計画になっていますか。</p>	<p>現在のおおね公園には、樹木や緑地、散策路、池、運動施設、遊戯施設など、多数の施設等があり、区域全域に設置されております。 このため、新たに園内に体育館兼多目的ホールを整備するスペースを確保することは難しい現状であります。 また、このような施設の設置につきましては、設置場所を含め、その必要性など、秦野市公共施設再配置計画との整合を図る必要もあり、現時点では難しいと考えます。</p> <p>来年度、スポーツ広場を人工芝で整備する計画です。 具体的にはサッカー、ラグビー、ソフトボール、少年野球を含め内野部分の土を残したまま外野部分を人工芝にします。 天然芝との比較ですが、人工芝にすることで、雨天後すぐに利用できるようになり、冬期の降霜による利用制限もなくなります。 人工芝はより天然芝に近い感触の得られる、毛足の長いタイプのものを使用するため、雨で濡れても滑らず、転倒時の擦傷の心配もほとんどありません。 工事期間は、平成29年7月から年内12月の完成を予定しています。</p>	建設管理課長	当日の回答に同じ	建設管理課 スポーツ推進課
13	<p>東北久保塩貝線の都市計画道路が無ければ、緊急輸送路の確保、児童の安全確保のための歩道設置はできないと思うが、計画から無くなっている。</p>	<p>指摘の道路については、計画から消えています。見直し計画の中では、検証をする中での保留路線となっています。</p>	都市政策課長		

14	<p>①大山と鶴巻温泉をつなぐバス路線構想について実現の可能性はあるのか。</p> <p>②足湯の利用時間が朝の10時から夕方5時までであるが、朝9時から人が並んでおり、土日の夕方登山客が多いので、朝は9時から、夜は7時まで利用時間を延長できないのか。</p>	<p>①国の地方創生交付金事業に手を上げて、8月に採択されたものでございます。これは、鶴巻温泉周辺の観光振興およびまちの賑わい創出を図ることを目的としており、3か年の事業であります。調査、需要予測を元に社会実験を行い、3年目に路線の運行計画を策定し、本格運行に結び付けたいと考えております。今後駅前での調査や旅館の調査を行いますのでご協力をお願いしたいと思います。</p> <p>②長く利用いただけるのが一番良いとは思っておりますが、弘法の里湯と同じ担当がやっているので、本館と時間をずらさなければならず、現在の利用時間となっております。</p>	観光課長	当日の回答に同じ	観光課
	<p>足湯の延長について朝7時には弘法の里湯は入り口が開いているのでできないことはないのではないかと。夕方についても弘法の里湯の閉館が9時なので7時まで延長するのは可能だと思うので前向きに検討してもらいたい。</p>	(要望)	-	要望として承ります。	観光課
15	<p>県道612号の踏切から延命地藏までの工事の期限はきちんと守ってほしい。その後の工事が遅れてしまう。</p>	(要望)	-	工事期限については、平塚土木事務所に再度確認していく。	国県事業推進課

第2部: 市政全般についての意見交換

	質問内容	当日の回答	回答者	補足、現在の状況・今後の対応等	担当課
16	<p>①災害時に広域避難場所に発電設備がどの程度準備されているのか。燃料が切れた場合にどのように対応するのか。</p> <p>②水害時にポンプ場の電源が遮断された場合、どのように対応するのか。</p>	<p>①防災備蓄倉庫の中には可動式の発電機、ガソリン燃料のものが2台、ハイブリッド式が1台あり、ハイブリッド式はガソリンとプロパンガスの両方で稼働できます。東日本大震災のときにガソリンスタンドがいっぱいでなかなか給油ができなかったということがあり、LPガスについては比較的手に入りやすいとありましたのでハイブリッド式を配置しております。これらはいずれも小型でして、体育館の全体のコンセントが使える大型の発電機については、現在協定を結んでいまして、災害が起きたときには持ってきて、体育館が使えるようになっています。</p>	防災課長	当日の回答と同じ	防災課
		<p>大根川ポンプ場は常時排水となっており、停電時もポンプが稼働できるように自家発電機を備えております。燃料については、連続30時間稼働できるように地下タンクを備えています。芦屋地区のポンプについては、雨水幹線の整備した後、できるだけ自然流下に近い形をとりたいと考えていますが、ポンプは必要と考えております。現在のものは自家発電を備えており、停電時の対応はできるものと考えております。</p>	下水道施設課長	当日の回答と同じ	下水道施設課
17	<p>①鶴巻中学校の設備について、何がどのくらいの数量で、収容人数は何人なのか。</p> <p>②災害時の避難所体制が本当に機能するとは思えないのだが、見解を聞きたい。</p>	<p>①倉庫ですが130平米あり、中はまだ余裕があります。中にある物品の数量につきましては、今日資料がありませんので、後日回答させていただきます。収容人数についても資料がありませんが、一人当たり3平米として計算しております。</p> <p>②熊本の地震の避難所運営を見て、我々も不安を抱いております。実際震度5弱の地震が起きて鶴巻小中学校に避難所を開設することになる。今までの訓練はそこまででしたが、今年は8月に割り振る職員に開設から初動期の運営について訓練を行いました。まず職員に流れを習得してもらおう。また、来年の2月に地区配備隊と避難所運営委員会とで初動期の避難所の運営を確認していく機会を設けたいと考えています。そこで新たな問題点ができれば修正していきたいと考えております。</p>	防災課長	<p>①防災備蓄倉庫の物品の数量につきましては、別紙のとおりです。</p> <p>②同左</p>	防災課

18	<p>①9月の防災訓練でお願いしたが、避難所運営委員会の訓練について細かい手順書を作って実際の災害をイメージした訓練を地区配備隊と一緒にを行うよう要望する。</p> <p>②避難者名簿の管理の方法、在宅避難者の名簿の取り扱い方法を明記しておく必要があるのではないか。</p>	(要望)	-	<p>①昨年度1月の避難所運営訓練では、市内23カ所の広域避難場所で一斉に訓練を実施しました。平成29年度は、総合防災訓練と同時に、避難所運営訓練を実施する予定です。今後も訓練を重ねていき、より実践的な訓練ができるようにして参ります。</p> <p>②今後、規約やマニュアルに反映するよう検討して参ります。</p>	防災課
19	<p>①健康寿命を延ばしていく上で、いろいろな施策を行っているが、介護保険にプラスになっているなど、市で施策の評価をしたほうが良い。</p> <p>②教室などに男性の参加者が少ないので増やすための方法を何か考えたほうが良い。</p>	(要望)	-	要望として承ります。	高齢介護課
20	<p>おおね公園の多目的広場を利用するが改定案では800円が1600円に倍になっている。高齢者には厳しいと思う。活動により半面でも支障がない場合などは料金を安くするなど検討してもらいたい。</p>	<p>公共施設の利用料の三分之一の利用者にご負担いただくという改定ですが、今回の改定でも三分之一には満たない改定です。おおね公園の多目的広場につきましては、人工芝を整備する費用も含めた引き上げということでご理解いただきたいと思ます。また、今までにない共用利用という区分を設ける予定ですので、全体を使わずに一部を利用する場合は大人一人一回200円となります。</p>	公共施設マネジメント課長	当日の回答に同じ	公共施設マネジメント課